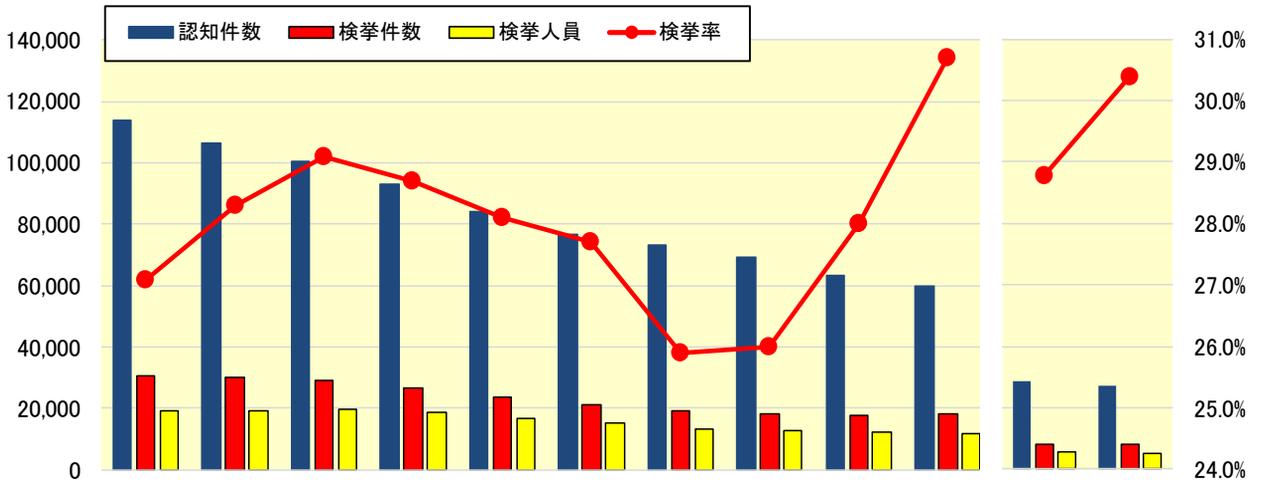


令和元年上半期の刑法犯の認知・検挙状況(暫定値)

警察本部

1 刑法犯

	認知件数				検挙件数				検挙人員				検挙率		
	H30.6末	R1.6末	増減		H30.6末	R1.6末	増減		H30.6末	R1.6末	増減		H30.6末	R1.6末	増減
			件	%			件	%			人	%			
刑法犯	28,836	27,124	-1,712	-5.9	8,305	8,234	-71	-0.9	5,507	4,984	-523	-9.5	28.8	30.4	1.6



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30.6末	R1.6末
認知件数	113,632	106,228	100,253	93,157	84,154	76,857	73,456	69,456	63,383	60,001	28,836	27,124
検挙件数	30,846	30,048	29,126	26,704	23,689	21,300	19,056	18,051	17,776	18,433	8,305	8,234
検挙人員	19,345	19,296	19,672	18,681	16,510	15,190	13,260	12,739	12,078	11,877	5,507	4,984
検挙率	27.1%	28.3%	29.1%	28.7%	28.1%	27.7%	25.9%	26.0%	28.0%	30.7%	28.8%	30.4%

認知状況

- 認知件数は27,124件。5.9%減少（平成17年以降の減少傾向を維持）。
- 人口10万人当たりの犯罪率は370.2件。戦後最少であった昨年の上半期（394.4件）を更に下回る。

検挙状況

- 検挙率は30.4%（前年同期比1.6ポイント増加）。平成2年以降30年ぶりに30%台。

2 重要犯罪

(殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買、強制わいせつ)

	認知件数			検挙件数			検挙人員			検挙率		
	H30.6末	R1.6末	増減	H30.6末	R1.6末	増減	H30.6末	R1.6末	増減	H30.6末	R1.6末	増減
重要犯罪	376	377	1	309	308	-1	225	253	28	82.2	81.7	-0.5
殺人	15	40	25	15	35	20	14	32	18	100.0	87.5	-12.5
強盗	87	75	-12	78	73	-5	68	72	4	89.7	97.3	7.6
放火	33	18	-15	23	11	-12	13	11	-2	69.7	61.1	-8.6
強制性交等	27	37	10	25	28	3	23	20	-3	92.6	75.7	-16.9
略取誘拐・人身売買	10	7	-3	7	5	-2	6	5	-1	70.0	71.4	1.4
強制わいせつ	204	200	-4	161	156	-5	101	113	12	78.9	78.0	-0.9

認知状況

- 認知件数は377件。1件（0.3%）増加。
- 殺人、強制性交等は増加。他は減少。

検挙状況

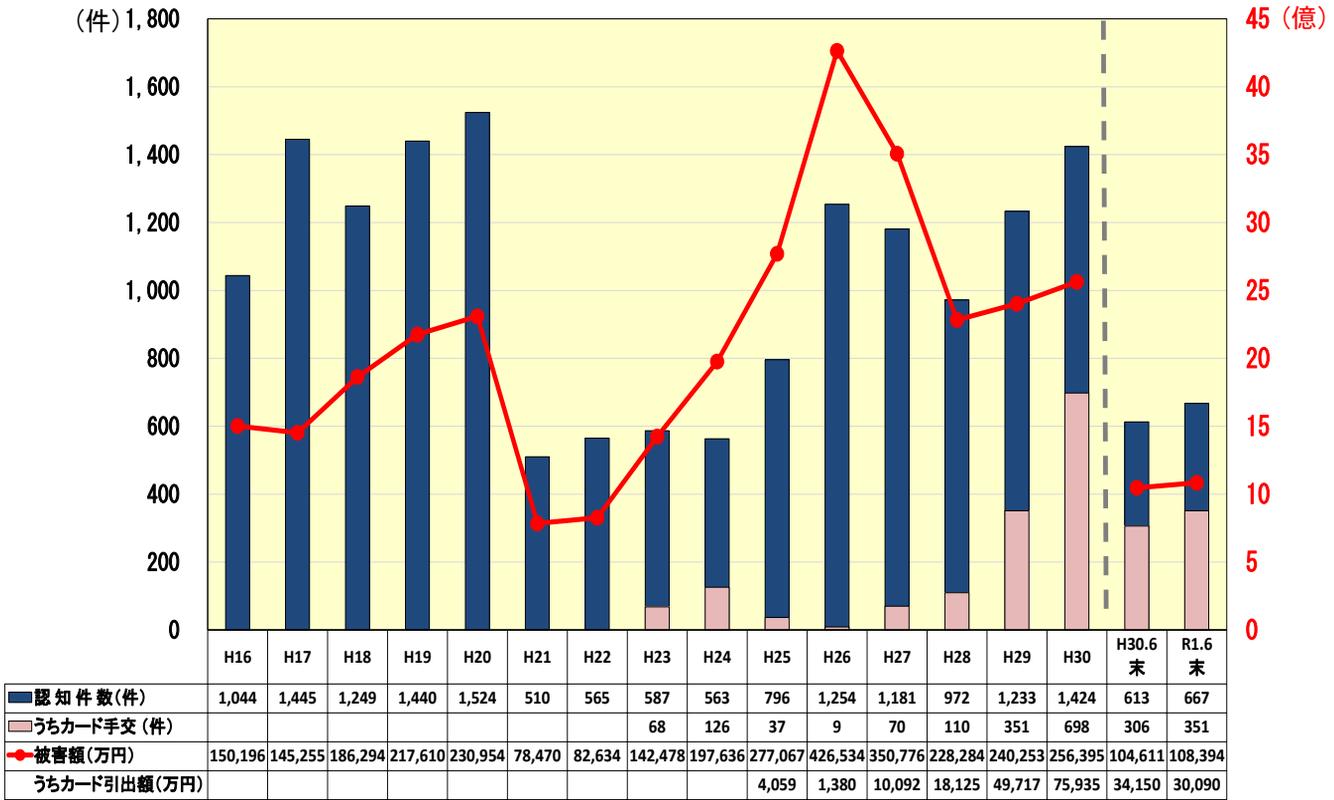
- 検挙率は81.7%（前年同期比0.5ポイント減少）で、2年連続で80%台。

殺人の認知・検挙状況

- 認知件数は40件（既遂14件、未遂26件）。昨年15件（既遂4件、未遂11件）と比べ大幅増加。
- 検挙件数は35件（35人 男25人、女10人）。
- 検挙被疑者35人中40代が14人（昨年2人）。40代被疑者の職業は無職（13人）、家族間での発生が多く、被害者は親（5人）、夫（3人）等。
- 児童虐待による殺人未遂が2件（被害者は0歳、11歳）。

3 特殊詐欺

(振り込め詐欺、その他特殊詐欺)

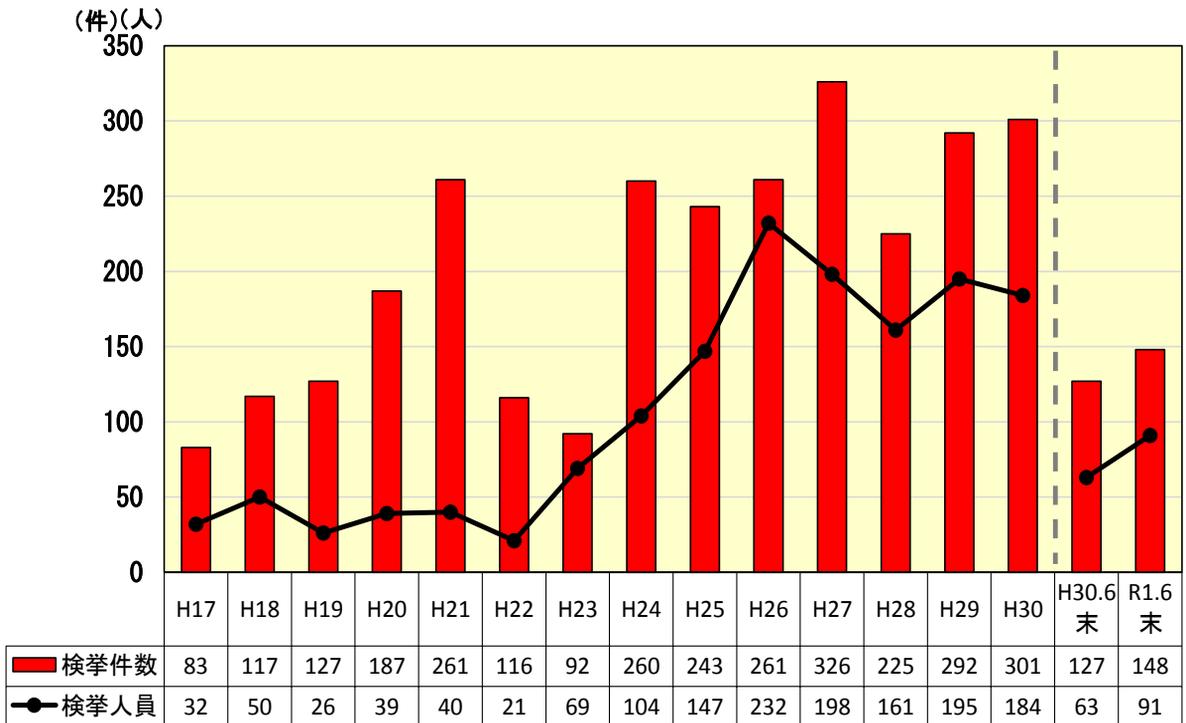


※ 平成22年までは振り込め詐欺、平成23年から特殊詐欺（振り込め詐欺以外の特殊詐欺を含む）の数値。

※ カード手交は、キャッシュカード手交型の認知件数。（平成23年以降、統計あり）

※ 平成25年以降の被害額は、キャッシュカード手交型でだまし取られたキャッシュカードによって不正に引き出された金額を含む。

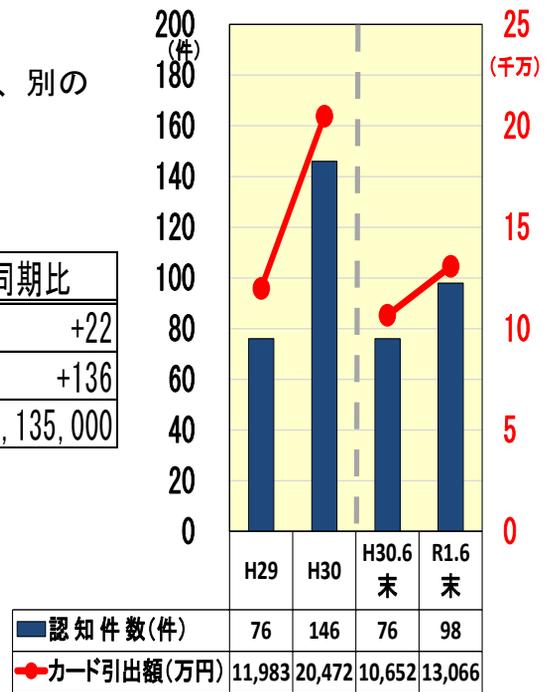
※ 千円単位切捨て。



※ 特殊詐欺と同視し得るキャッシュカードの窃盗（職権盗）の認知状況

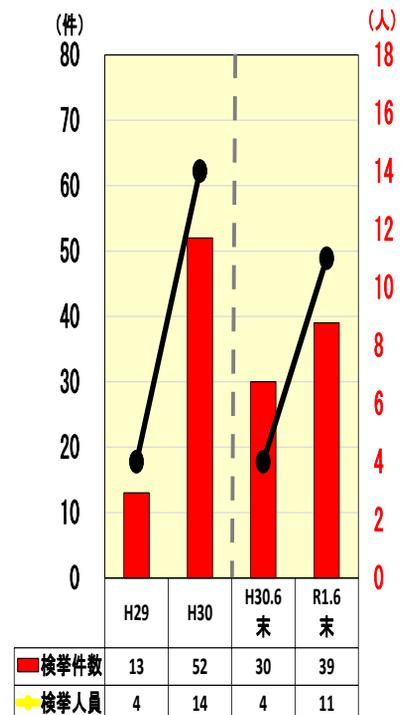
キャッシュカードを単に騙し取るのではなく、別のカードにすり替える手口。

種別	項目	令和元年1～6月	前年同期比
認知	認知件数	98	+22
	被害カード枚数	333	+136
	引出額	¥ 130,664,000	+24,135,000



※ 特殊詐欺と同視し得るキャッシュカードの窃盗（職権盗）の検挙状況

種別	項目	令和元年1～6月	前年同期比
検挙	検挙件数	39	+9
	検挙人員	11	+7



認知状況

- 認知件数は667件。前年同期比8.8%増加。
特殊詐欺として計上を始めた平成23年以降、最多。
- キャッシュカードを騙し取る手口が約2分の1（351件）。
- 被害キャッシュカードから引き出された現金を加えた実質被害額は10億8,394万円。前年同期比3.6%増加。
- 65歳以上の高齢者被害が8割以上（86.7%）。女性被害が約8割（80.5%）。
- 職権盗の認知件数は98件（前年同期比22件増加）。
引出金額は1億3,066万円（前年同期比2,413万円増加）。

検挙状況

- 検挙件数は148件（前年同期比21件増加）。
平成23年以降、最多。
- 検挙人員は91人（前年同期比28人増加）。
平成23年以降、2番目。
- 検挙人員のうち暴力団構成員等は8人（前年同期比8人減少）。
少年は21人（前年同期比3人減少）。
- 犯行拠点を2か所摘発。
- 職権盗の検挙件数は39件（前年同期比9件増加）。
検挙人員は11人（前年同期比7人増加）。

水際未然防止状況

防止区分	令和元年1～6月			
	件数	前年同期比	金額	前年同期比
水際未然防止	493	+59	50,073万円	-1,436万円
金融機関	220	-22	36,700万円	-2,367万円
ホットライン活用	185	-30	35,042万円	-808万円
コンビニエンスストア	69	-17	1,091万円	+80万円
その他	204	+98	12,282万円	+851万円

※ 防止金額は1万円未満切り捨て

- 水際未然防止件数は493件（前年同期比59件増加）。平成23年以降、3番目。
- その他（警察官、自治体職員、家族、知人、防災無線等）による未然防止が増加。
- ATM引出制限について、県内4信用金庫、JAに次いで埼玉りそな銀行が実施（平成31年1月19日から）。